

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 33

2018年3月2日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 東 海 ユ ニ オ ン 第 2 回 団 体 交 渉

# 5年連続のベア獲得にむけ議論を展開

J R 東 海 ユ ニ オ ン は 2 月 2 2 日、2018 春 季 生 活 闘 争 「ゆめいく」の第2回団体交渉を行い、ベースアップの必要性、「調整手当」「扶養手当」「役付手当」等の基準内賃金の改善、「通勤手当」等の基準外賃金の改善について協議した。

交渉では、ベースアップの実施にあたって、「景気動向」「会社業績」「当社の賃金水準」「組合主張」等の判断基準を総合的に勘案することや、春闘を取り巻く情勢、J R 東 海 の 業 績 等 に つ い て 労 使 で 認 識 の 一 致 を 確 認 し た 一 方、会社は、「既に相当高い水準にある当社の賃金水準などを踏まえると、恒久的な負担を伴うベースアップ等により月例賃金のさらなる底上げを図る客観的な理由は見出しにくい」と従来の主張を繰り返し、慎重な態度に終始した。

これに対して J R 東 海 ユ ニ オ ン は、ベースアップの実施に対する会社見解と大きな乖離があることを指摘したうえで、満額回答にむけた議論を展開していく決意を改めて会社に示すとともに、「将来宣言」に則った真摯な対応と誠意ある回答を要請した。

また、その他手当の改善についても、会社は、「増額する考えはない」「変更する考えはない」と従来の回答に終始し、交渉は平行線を辿った。

J R 東 海 ユ ニ オ ン は、組合員・家族の期待に応えるべく、引き続き、団体交渉を行うこととしている。